5　花づくりのさかんなところ

①鳥取県の花づくりの特色

花を身近にかざることで心にゆとりや豊かさが生まれます。鳥取市の一家庭あたりの花を買う金額は全国でも第４位と上位にあります。

花を買う人がふえるにつれて，花づくりもさかんになってきました。鳥取県でも花をつくる農家がふえ，県内をはじめ，大阪府や兵庫県など，関西を中心に県外にも出荷しています。

近年は，町の花屋さんだけでなく，スーパーやホームセンター，直売所などでたくさんの花が売られていて，花にふれる機会もふえています。



町にある花屋さん



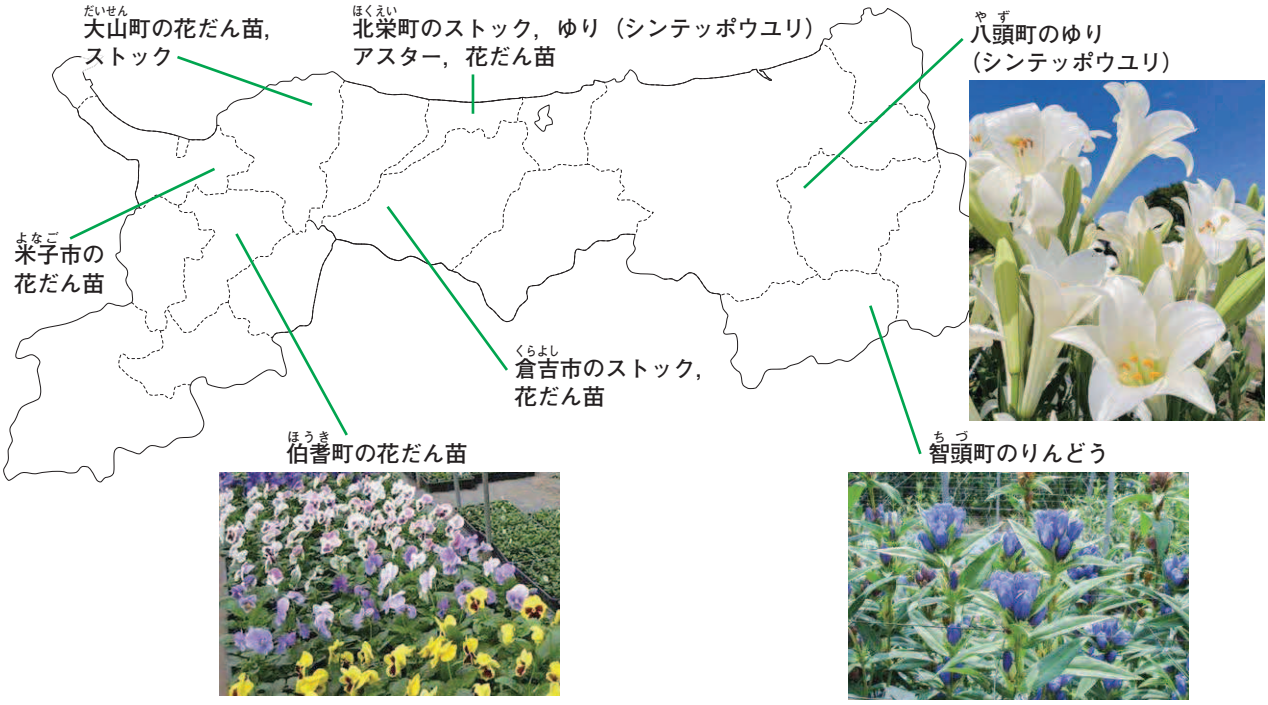
直売所で売られている花だん苗

切り花の一世帯あたり年間購入金額
（全国県庁所在地および政令指定都市別ランキング）

県庁所在地および政令指定都市	購入金額（円）	全国順位
福島市	13,390	第1位
和歌山市	11,463	第2位
仙台市	10,506	第3位
鳥取市	10,306	第4位
盛岡市	10,206	第5位
山形市	10,036	第6位
高松市	9,785	第7位
堺市	9,643	第8位
鹿児島市	9,576	第9位
新潟市	9,076	第10位
全国平均	7,952	—

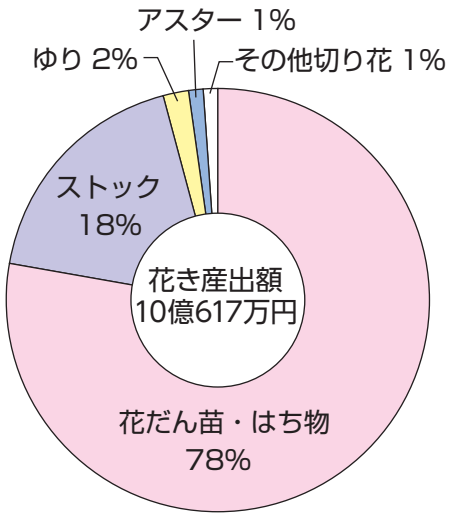
［2020～2024年平均/総務省］

【県内の切り花・花だん苗の産地】



鳥取県ではいろんな花がつくられています。花束などにつかうストック，ゆり（シンテッポウユリ），アスター，りんどうなどの「切り花」や，花だんに植えるパンジーなどの「花だん苗」がさいばいされています。特にストックは全国第３位の産出額（２０２２年）です。

また，「切り花」や「花だん苗」のほかに「しば」のさいばいもさかんで，大山町，琴浦町，北栄町を中心にさいばいされています。産出額は１６億円で全国第２位の生産量です。



鳥取県花き産出額（しばを除く）
（2022年/鳥取県農林水産部）



琴浦町のしば畑

②クローズアップ！花づくり

北栄町のストック，ゆり，アスター

北栄町では，ビニールハウスを使ったすいかづくりがさかんです。６月にすいかをしゅうかくした後，そのハウスでストックやゆり（シンテッポウユリ），アスターなどをさいばいしています。鳥取県のストックさいばいは全国的にも有名で，県を代表する切り花です。



北栄町のストック（しゅうかく時期）



シンテッポウユリ（しゅうかく時期）



アスター（しゅうかく時期）

鳥取県の花だん苗

鳥取県は西日本有数の花だん苗産地です。主に県中西部を中心にほぼ１年中いろいろな花だん苗がさいばいされています。伯耆町や日南町では山間部のすずしい気候をいかして品質のよい苗がつくられています。

また，北栄町や大山町では広い土地をいかして，たくさんの苗がさいばいされています。これらの花だん苗の一部はとっとり花回廊に植えられ，美しい風景をつくり出しています。



大山町の濱田さんの花だん苗



広い土地でのさいばいのようす
（大山町・三澤さんの花だん苗）

とっとり花回廊

とっとり花回廊は，南部町にある日本最大級の花の公園です。大山の美しい姿を望む絶好の景色の中で四季折々の草花を楽しむことができます。

ここにかざられている花だん苗の９９％以上は鳥取県内でさいばいされたもので，花だん苗生産をさかんにする役割もあります。



入口から大山を望む



パンジーが咲いている花の丘の様子

鳥取県のしば

鳥取県のしばは，主にゴルフ場や公園などに利用されてきましたが，最近はサッカー場やラグビー場などの競技場にも利用されるようになりました。

２０１９年ラグビーワールドカップの会場となった東京スタジアム，熊谷ラグビー場，甲子園球場，さらに２０１９年（令和元年）に完成し東京オリンピックのメイン会場となった新国立競技場にも利用されています。



北栄町のしば畑（砂丘地）